



令和元年 9 月 3 日
8 時 30 分 受領
令和元年 9 月 3 日

伊根町議会議長 上辻 享 様

伊根町議会議員 佐戸 仁志



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
宮津高校伊根分校の跡地利用は	<p>宮津高校伊根分校は4年後廃校となり、跡地は京都府より譲渡されるものと思われる。伊根町民体育館は当然町の所有地でありグラウンド周辺・校舎東側の耕作放棄地を買い取りすれば、国道178号に面し伊根町でも他にない広大な土地となる。</p> <p>大型バスの乗り入れ可能な観光拠点を作る、定住促進を計る為家族向け住宅、単身住宅を建設する、</p> <p>問題もあるだろうが宅地として分譲・販売するなど様々な計画が考えられる場所である。</p> <p>4年後譲渡決定後考えるのではなく、今すぐ協議会を立ち上げ役場・伊根地区・日出地区・観光業者・漁業者・農業者・商工会等様々な方々と跡地利用を協議してはどうか。</p>	町長

発言時間 約 15 分

- (注)
- 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
 - 2 質問の相手は、町長、教育長とする



令和1年9月3日
9時00分 受領

令和1年9月3日

伊根町議会議長 上辻 亨 様

伊根町議会議員 大谷 功 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
○水道事業の広域化について	<p>昨年国会で可決した改正水道法を踏まえ、府は水道事業の広域化を進める方針を打ち出している。</p> <p>京都府の南部、中部、北部の3圏域に協議会を設け各自治体の水道事業の統合を検討している。また民間委託等を活用した広域連携も検討している。現在協議会設置に向けて進んでいるのか。状況を伺う。</p> <p>水道事業は、民営化、広域化によって、水道料金の高騰、水質も悪化で民営化していた水道を再公営化したという外国の失敗例もある。民営化して命の水をもうけの対象にするようなことは、してはならないと思う。また、広域化することで、自己水源の廃止や 災害対応にも有効な地域分散型水道の否定につながることも心配される。</p> <p>町長の認識と今後の対応について伺う。</p>	町長
		発言時間 約15分

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
 2 質問の相手は、町長、教育長とする。

伊根町議会議長 上辻 亨 様

伊根町議会議員 山根 朝子 

一般質問通告書

次のとおり通告します

質問事項	質問の要旨	質問の相手
再生可能エネルギーと町づくりについて	政府は「第5次エネルギー基本計画」で原子力や石炭火力、地熱、大規模水力による発電などを「ベースロード電源」として最優先に位置づける一方で、再生可能エネルギーは「主力電力化を目指す」とし、2030年度の電源比率は22～24%と低い目標のままとなっている。しかし、世界の趨勢は再生可能エネルギーへと転換してきている。「RE100」(Renewable Energy100%)に参加する大手企業が増え、今後は再生可能エネルギーを使わない企業は市場では通用しなくなるということも考えられる状況になりつつある。また、中小企業版の「REアクション」では、2050年までの期限を決めて自治体の行政機関が使っている電気を100%再生可能エネルギーでまかなうことを宣言することが参加の条件となっている。自治体出資の地域新電力は2018年6月現在33カ所、出資形態も5%～87%までと様々だが、地域の活性化、住民の福祉の向上と結びついた再生可能エネルギー政策を町としても考えていく必要があるのではないか。町長の見解を問う。	町長

発言時間 約 15 分

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること

2 質問の相手は、町長、教育長とする。



元年 9月 3日
10時 50分 受領

令和1年 9月 3日

伊根町議会議長 様

伊根町議会議員 中嶋章



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
観光振興について	<p>海水浴シーズンには毎年きれいな海と豊かな自然を求めて多くの方が遊びに来られます。今年は短い夏でしたが泊、本庄浜海水浴場共に賑わいました。観光協会事業のシーカヤックも盛況でした。町のトイレシャワー施設の件ですが毎年排水装置のトラブル発生でトイレのつまり、更衣室内部扉が閉まらない等、経年による施設の痛みが見受けられます。応急修理はされていますが、快適な環境提供に海水浴シーズン前の整備点検が必要です。また、ごみの問題ですが分別していないごみは回収されずごみ処理は役員さんの重い負担となっています。ごみ箱は撤去しごみの持ち帰りをうたう看板の設置等の対策が必要と考えます。</p> <p>水難事故防止の面では駐在所の巡回と防災無線放送の効果で大きな事故は発生していませんが防災無線の切替えて来年以降も放送が維持されるのか、また遊泳禁止時や万一の水難事故発生時の連絡や救助体制について伺います。</p>	町長
温泉施設の活用について	<p>町老人福祉センター泊泉苑の温泉施設が町民及び一般客にも提供されています。しかし幟を立てて誰でも温泉が利用できると案内されていますが、伊根町に立ち寄りの温泉の存在は一般にはほとんど知られていません。運営の工夫や情報発信で日帰り温泉スポットとして利用料入湯税が見込めます、入湯税は環境衛生施設・消防活動施設整備や観光振興の貴重な財源として生かされます。また、地域の交流面ではより多くの住民の利用でたくさんのふれあいが生まれます。</p> <p>先の住民アンケートでも暮らしていて一番良いところ、大切にすべきところとして「人間関係」が上位に挙がっています。土日・休日の開放、利用時間の拡大や積極的な温泉案内、情報の発信によって更なる人の交流と快適な空間が生まれ町の財政寄与にもつながると考えますが町長の見解をお伺いします。</p>	

発言時間 約 20分

- (注)
- 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
 - 2 質問の相手は、町長、教育長とする。